



地域おこし協力隊
井下友梨花さん

語り合うと見えてくること

4月、宮城県気仙沼市で開催された「東北伴走者合宿」に参加しました。ここでいう伴走とは、中高生のプロジェクトへの伴走です。

東日本大震災の後、沿岸部には中高生の居場所支援団体が多くできました。そこでは、「ボランティアにとっても世話になったから、今度は私も何かしてみたい」という思いを持つ中高生の背中を押し、本人たちのやってみたいと思うことが実現できるよう、支援団体が見守り、時には話し相手をしていました。この結果、東北では多くのマイプロジェクトが生まれました。

今回の合宿には、20～30歳代の伴走者が40人近く集まり、震災からの11年を振り返り、今とこれからについて語り合っていました。集まって語り合うと、未来が見えてくることを実感しました。今年度は、語り合う1年にしたいです。

ご意見・ご感想

投稿されたご意見・ご感想の一部を紹介します(敬称略)。匿名を希望する場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもOKです。また、イラストも募集しています。



益城に住んで25年経ちますが、まだまだ知らないところがたくさんあり、「わがまち散歩」を読んで楽しんでいます。 P.N K



学校給食の人気メニューの作り方を紹介してほしいです。 P.N りんごタルト



くらしの情報、よく分かります。復興まちづくりセンターの愛称「にじいろ」とてもいいですね。行ってみたいです。 島田 田崎誠子



まちづくりセンターの愛称「にじいろ」と、込められた思いがとても好きです。 P.N A.Y



内容が充実していて、とても見やすいです。「わがまち散歩」今月はどこかな?と興味津々です。「役場にも昼が来た」も笑顔がすてきでほっこりします。これを機に役場の職員さんも紹介してください。次号も楽しみにしています。 P.N カスミソウ



4月号の表紙、男の子2人の優しい笑顔に、こちらまで笑顔になりました。わが家の独立した2人の息子のあの頃を思い出しました。いつまでも仲良く魚釣りをしてほしいです。 広崎 岡崎美佐子



ヘルプマーク(ストラップ型)があることを初めて知りました。配慮を必要としていることが外見で分からないと、やはりスルーしてしまうので、一目でわかるマークがあると助かります。付ける方も気にしないで付けてほしいです。 木山 中村舞子



子どもが広安西小に入学しました。私は広安西小の1期生。あの頃の真新しい教室に入って、わくわくした気持ちを思い出します。自分の子どもが同じ小学校に通うと思うと、感慨深いです。コロナの影響で私が通った時と違うことも多いと思いますが、たくさんの思い出を作してほしいです。 P.N A.N

イラスト・絵手紙

イラスト
ありがとうございます!

広崎 瀬戸サイ子



絵手紙
ありがとうございます!

古閑 今富正巳